

# 当院における制吐対策

催吐性リスク分類	薬剤	対応
高度(催吐性)リスク	EC FOLFIRINOX FOLFOXIRI シスプラチン …等	①5-HT <sub>3</sub> 受容体拮抗薬 →当院ではアロキシ®使用 ②アプレピタント ③デキサメタゾン(注射+内服)
中等度(催吐性)リスク	GEM+nabPTX イリノテカン エピルビシン オキサリプラチン カルボプラチン …等	①5-HT <sub>3</sub> 受容体拮抗薬 →当院ではグラニセトロン®使用 ②デキサメタゾン(注射) ※アプレピタント、デキサメタゾン内服はオプション
軽度(催吐性)リスク	カバジタキセル ゲムシタビン パクリタキセル ドセタキセル エリブリン …等	①デキサメタゾン(注射) ※当院では薬剤によりグラニセトロン®使用

※上記対策よりスタートし、患者の症状に合わせ変更していく